

授業科目	宗教と人間					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10103J	
開講年次	2・3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	古川 敬康							
授業概要	「感恩奉仕」という建学の精神は、教義の基準を聖書におくキリスト教に基づいています。この精神は、キリスト教ばかりではなく他の宗教を学ぶことで、より広くまた深く身につけることができます。というのは、グローバルな時代のコミュニケーションや奉仕の実践力は、他の人の信じる宗教を理解する力をどれだけ持っているかに依存することも少なくないからです。 授業では、日本古来の神道、仏教、キリスト教について、それぞれの起源、特徴、救済の機能を学びます。次に、現代の問題を抱える私たちにとっての宗教の役割を学びます。ユダヤ教、イスラム教については、その中心的な教えを学びます。 授業は、祈りに始まります。必要に応じ視聴覚教材を用います。							
学生が達成すべき行動目標	1. 宗教の起源に関する主要な学説を理解し説明できる。 2. 神道、仏教、キリスト教の起源、特徴、救済機能を理解し説明できる。 3. ユダヤ教とイスラム教の中心的な教えを理解し説明できる。 4. 他の宗教を信じる人々の立場を理解しようとする視点を持つことが出来る。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	10	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	60		5		15		80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5		15		20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルに加えて、以下のことが実行できる。 配布されたプリントの授業の箇所を読み、分からない漢字や用語を辞書やインターネットで調べておく。疑問や自分の考えを書き留めておく。 授業中は、新たな疑問や発見したことを書き留め、クラスで分かち合うことができる。 復習として、ノートを見ながら、授業で学んだプリントの箇所をもう1回読む。 手がかりとなるものがなくても行動目標を実行できる。				予習として、毎回、テーマとなるプリントの箇所を1回読む。 授業中は、用語の意味を書き込み、板書事項を写し、感想や疑問などもコメントを書いて提出する。 復習は、テーマとなったプリントの箇所に目を通し、授業で学んだ内容を理解できたか確認する。 課題を行い、レポート提出は期日を守る。 自作のノートやテキストを見ながら行動目標が求めている内容を実行できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	人間に宗教がもたらす豊かさ	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
2	神道の起源と特徴	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
3	神道の教え:あるがままの自然	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
4	仏教の起源と特徴	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
5	仏教の教え:悟りと慈悲	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
6	キリスト教の起源と特徴	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
7	キリスト教の教え:愛への気づき	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
8	中間のまとめ	講義	これまでのテーマを確認し、ノートとプリントに目を通す。	90
9	宗教による心の癒し(1)	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
10	宗教による心の癒し(2)	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
11	宗教が教える人間関係:祭、方位	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
12	宗教が教える人間関係:自己理解	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
13	宗教の希望:「愛する者の老いと死」への答え	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
14	ユダヤ教とイスラム教	講義	プリントのテーマの箇所を3回読む。	90
15	まとめ	講義	これまでのテーマを確認し、ノートとプリントに目を通す。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	プリントにある漢字を音読できること、 各授業のテーマのプリント箇所を3回読むことを習慣化すること			
テキスト	授業で配布するプリント			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『古事記』、神社本庁教学研究所『神道のしきたりと心得』池田書店、中村元編『仏教語源散策』『続仏教語源散策』東京書籍、中村元・奈良康明『仏教の道を語る』東京書籍、古川敬康『キリスト教学概論－新しいキリスト教の架け橋』勁草書房、ブリタニカ・平凡社等の百科事典 その他は、授業中に随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で宗教を学問として理解する力を養う方法として、 1. どのプリントも3回以上読むこと 2. 集中力を高めること 3. 仏像を見たり、寺院や教会、遺跡、共同墓地へ行き時間を過ごす体験をすること 4. 世界の民族や人々の背後にある宗教は何かについて興味を持ち調べること			
達成度評価に関するコメント	試験(定期試験60点)、レポート(チャペルレポート10点)、レポート外の提出物(各授業で提出する、下記の加減点表、予復習表、授業コメント30点)、 チャペルレポート:A4×2枚＋表紙、チャペル3回出席(1回につき800字前後) 加減点表の内容: 加点各2点(寺院・教会散策の感想文1か所につき400字以上＆写真:3か所まで加点)			